

## ■はじめに

「オープンスタジオ 青木淳と建築を考える」も3年目を迎えました。

本学客員教授の建築家・青木淳氏に、建築設計の最新線からのメッセージとして設計課題を出してもらい、青木氏とのウェブ上あるいは直接の対話を通して、学生諸君の思考を刺激しようという企画です。また、本学以外の学生諸君にも門戸を開き、建築を志す若い人々の間での交流が生まれることも意図しました。

1年目は「模型から建築へ」、2年目は「ドローイングから建築へ」という課題が出され、それぞれ多くの優れた作品が集まり、有意義な議論が交わされました。ウェブ上および講評会場における青木氏からのコメントは、実に丁寧かつ発見的で、学生諸君が得たものは非常に大きかったと確信しています。

3年目の課題は「風景から建築へ」です。課題書の中で青木氏も述べているように、これまでの2回は、建築を「表現」の側から考えたのに対し、今度は「内容」の側からとらえてみようというねらいです。

「風景」という言葉をどう解釈し、そこからどのような新しい建築の姿を見出すのか。皆さんの斬新なイメージを期待するとともに、青木氏との活発な議論が、ウェブ上、皆さんの頭脳の中、そして講評会場で飛び交うことを期待しています。

「オープンスタジオ 青木淳と建築を考える」担当 花田 佳明

## ■課題内容

### 「風景から建築へ」

一昨年在「模型から建築へ」、昨年在「ドローイングから建築へ」で、今年三回目は、「風景から建築へ」です。2年間、建築の内容ではなく、その表現から建築を構想してみる、ということをしてきましたが、今年はどうかわって、建築を内容から構想してみよう、というわけです。建築にとって、コトとしての内容とモノとしての現れの両方が大切なことはもちろんのこと。内容と現れとは、建築というものの両輪、というよりも、切っても切れぬ関係にあるふたつの側面とわかっていいでしょう。つまり、素敵な内容であることと、素敵な現れであるということが同時に感じられたとき、ぼくたちは、それを素敵な建築と呼ぶのです。

とはいえ、建築を構想するとき、そんな、おそらくは奇跡的な状況をはじめから目標にすることは、たいへんむずかしいことです。だから、この2年間、現れを入口にしました。そして、今年は内容を入口にしよう、というわけです。

さて、「風景」です。風景という言葉には、いろんな意味があります。でも、ここで言おうとしている風景とは、「そこに様々なものを感じてきた場所」くらいの意味です。たとえば、ぼくの場合だと、2階建て木造アパートにみついている軽量鉄骨の外廊下や階段や、駅前の屋根付自転車置き場とかになるでしょうか。それらの場所に、ぼくは、好きとか嫌いとかを越えて、強烈な何かを感じてきました。そしてぼくは、そういう場所について考えてみるのが、建築を構想するときの重要な手がかりになっていると、よく感じます。そしてまた、そういう風景は、ぼく個人に閉じこもるのとは逆に、他の人に開かれていく建築の可能性を持っているように思います。

きっと、誰にでも、そんな「風景」はあるのではないかと思います。だとすれば、その風景から、建築を構想してみてください。

青木 淳

## ■担当教員

青木 淳（建築家・本学客員教授）+ 環境・建築デザイン学科教員

## ■対象

本学環境・建築デザイン学科学生または大学院生、および本学以外の建築関連の専門学校生・大学生・大学院生。

個人参加を前提とし、2人までの共同制作は認める。

## ■応募登録

このオープンスタジオに参加を希望する学生は、次の事柄を書いてメールにて登録を行うこと。応募登録者には、登録番号を10月10日頃までにメールにて返信する。

登録締切：9月30日（木）必着

件名：オープンスタジオ2010への参加申込

内容：氏名（ふりがな）・在籍校・学科名・学年・メールアドレス（携帯不可）

送信先メールアドレス：env-office@kobe-du.ac.jp

共同制作の場合はその旨を明記し、2人それぞれの氏名（ふりがな）・在籍校・学科名・学年を書いて登録すること。メールアドレスは代表者のみを記入。

## ■ホームページ

本企画専用ホームページを開設し、様々な情報を発信していくので、随時確認すること。

<http://www.kobe-du.ac.jp/env/openstudio2010/>

## ■スケジュール

□登録締切：9月30日（木）必着（メール以外は受けつけない）

□公開講義：10月2日（土）

14:00～16:00 青木淳教授による講義

16:30～18:00 中間講評会（神戸芸術工科大学の学生作品のみ対象）

会場：神戸芸術工科大学

□作品提出日

・本学の学生以外：10月29日（金）必着（持込み不可・郵送のみ受付）

・本学の学生：同日17:00までに環境・建築デザイン学科 事務室に提出

□成績優秀者の発表：11月初旬

青木淳教授が優秀作品を10作品程度選び、選ばれた人にはメールで通知するとともに、ホームページにて発表する。これらの作品の制作者は、最終講評会で青木淳教授や本学教員による講評を受ける。

□最終講評会及び懇親会：12月11日（土）

13:00～16:30 最終講評会

17:00～18:00 懇親会

会場：神戸芸術工科大学

希望者は自由に参加できる（入場無料・席は先着順）。

## ■作品の提出方法

□提出物

以下3つのものを提出すること。

・A2サイズ（420mm×594mm）の図面1枚 片面横使い。

ただし、立体、額装、パネル化は不可。

・PDFデータを保存したCD-R1枚 300dpi程度 10MB以内。

ファイル名は受付番号+姓[半角].pdfとする（例：001yamada.pdf）。CD-R上にも同じファイル名を記入すること。

・応募用紙 ホームページ上からダウンロードして必要情報を記載する。

□内容

テーマとする「風景」を示す何らかの図や文章、そこから発想した「建築」を示す配置図・平面図・断面図・立面図などの図面、コンセプト等を説明する文章、その他必要と思われるもの。縮尺、表現方法は自由。

□登録番号の記載

応募図面の表面右下に3cm角の正方形を描き、その中に登録番号のみを明記する。応募者を特定できる情報は記載しないこと。

□質疑

この課題に関する質疑は一切受けつけない。但し、ホームページ上で参考情報を掲載する予定なので、ホームページを随時確認すること。

□送付先

〒651-2196 神戸市西区学園西町8-1-1 神戸芸術工科大学

環境・建築デザイン学科 事務室「オープンスタジオ課題提出」係

## ■最終講評会

優秀作品制作者（10名程度）は、提出した作品をさらにブラッシュアップした上で、最終講評会にて発表し（対象者には、別途メールにて詳細を連絡する）、その際、青木淳教授や本学教員による講評を受ける。最優秀作品・優秀作品を決定し、最優秀、優秀作品に選ばれた人には、青木淳教授から賞状及び賞品が贈られる。

## ■優秀作品展示会

成績優秀者の作品は、最終講評会後1週間程度、本学「セレンドイップギャラリー」にて展示を行う。

詳細は後日ホームページ上に掲載する。展示作品は、自由に観覧可能。

## ■注意事項

・応募作品は未発表のものに限る。 ・提出作品の返却はしない。

・優秀作品の最終講評会にあたっては、模型、図面等は各自で持参すること。その後に開催される展示会終了後に作品の返却は行わない。したがって、必要な場合は展示会終了日に各自で取りに行くこと。なお、最終講評会のために来学する場合の交通費等は支給は一切しない。

・本企画の参加作品の著作権は応募者に帰属するが、全応募作品及び最終講評会での発表作品の発表（ホームページ上の掲載、及び出版物への掲載等）に関する権利は神戸芸術工科大学環境・建築デザイン学科が保有する。

・入賞後に著作権侵害やその他の疑義が発生した場合は、すべて応募者の責任となる。また、その場合は、主催者の判断により入賞を取り消すことがある。

・本企画への参加に伴い得た個人情報については、本企画以外の目的には使用しない。